

いつまでも自分らしい生活を送るために

～「もの忘れがひどくなった」と感じるが増えたり、不安を感じることはないですか～

〈問い合わせ〉健康長寿課高齢者支援係 TEL 25-2391

認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です

みなさんは直方市の高齢化率を知っていますか？

令和5年9月1日時点の高齢化率は、約33.2%で、市民の約3人に1人が65歳以上の高齢者となっています。誰にも“老い”はあり、歳を重ねていく中で「認知症」を発症する可能性は高くなっていきます。認知症を身近な病気と考え、自分自身または自分の家族が認知症になったら…と考え認知症について正しく理解することから始めましょう。

4つのポイント

①知る

認知症についてどのような病気や症状があるの
かを知りましょう。症状や病気を理解し、早期に
対応をとることで、症状の改善や
症状の進行を抑えることができます。



②予防する

食事や睡眠、運動など生活習慣に気を付け、脳
を活性化することで認知症の予防や進行を緩や
かにさせる効果があると考えら
れています。



③支える

間違った接し方をすると、その人を傷つけてし
まったり、認知症の症状が進行してしまうこと
があります。相手の気持ちや
行動をきちんと理解して接
することが必要です。



④相談する

誰かに話をしてみる、専門科を受診するなど、1
人で悩まず周りの方に助けを求めましょう。1人
で解決策が見出せない場合
でも、みんなで考えれば今ま
で気づかなかったことに気づ
くことができます。



知っていますか「のおがた認知症お役立ちガイド」

認知症になっても安心して生活を送ることができるように、認知症の
人の状態に応じた適切なサービス提供までをまとめた本です。

直方市役所5階 地域包括支援センター(51番窓口)で配布
しています。お気軽にご相談ください。



成年後見制度をご存じですか？

自分一人でお金の管理をすることが不安になった。



子どもの判断能力に心配があり、今後が不安。



身寄りがなく、将来認知症になった時が心配。



このようなことでお困りではありませんか？

悪質商法に騙されそうになった。



認知症である父(母)のお金の管理をしているけど、銀行から成年後見制度を利用するように言われた。



離れて暮らしている親が心配。



成年後見制度とは

認知症や知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が低下すると、日常生活に様々な支障が生じることがあります。

このような判断能力の低下した人が、生活をする上で不利益を被らないよう、後見人等と呼ばれる本人の代理人を選任し、本人の財産や生活を保護・支援するのが成年後見制度です。

成年後見制度の利用については、最寄りの家庭裁判所、弁護士等司法職または直方市役所の高齢者支援係にご相談ください。

健康長寿課高齢者支援係
TEL: 25-2391 FAX: 24-7320

高齢者・障がい者のための成年後見制度 ～司法書士がお応えします～

(公社)成年後見センター・リーガルサポート福岡支部は、成年後見の無料の電話相談を行っています。将来に不安を抱えたままではなく、少しでも不安を解消したい人はぜひご相談ください。詳しくは電話で問い合わせください。

受付時間

平日 午後1時～3時(年末年始、盆休日を除く)

問い合わせ

TEL: 092-738-7050